

Luncheon Linguistics, 2 October, 2019

2019（令和元）年10月2日

「タタール語の定形節における代名詞化した限定詞との一致について」

発表者：菱山湧人（東京外国語大学大学院博士後期課程）

タタール語の「代名詞化した限定詞」が主語である節では、三人称単数一致のみならず一二人称複数一致も起こりうる。発表者はこの現象を説明すべくコーパス調査を行った。結果、特に‘all of {us / you}’を意味するものが主語である場合に一二人称複数一致を示す例が多いことが分かった。発表者はこの結果から、一二人称複数一致は「意味的一致 (semantic agreement)」(Corbett 2006) であると考えた。なぜなら、一二人称複数一致は意味的に一二人称複数であると解釈されやすいものが主語である場合に起こりやすいと言えるためである。